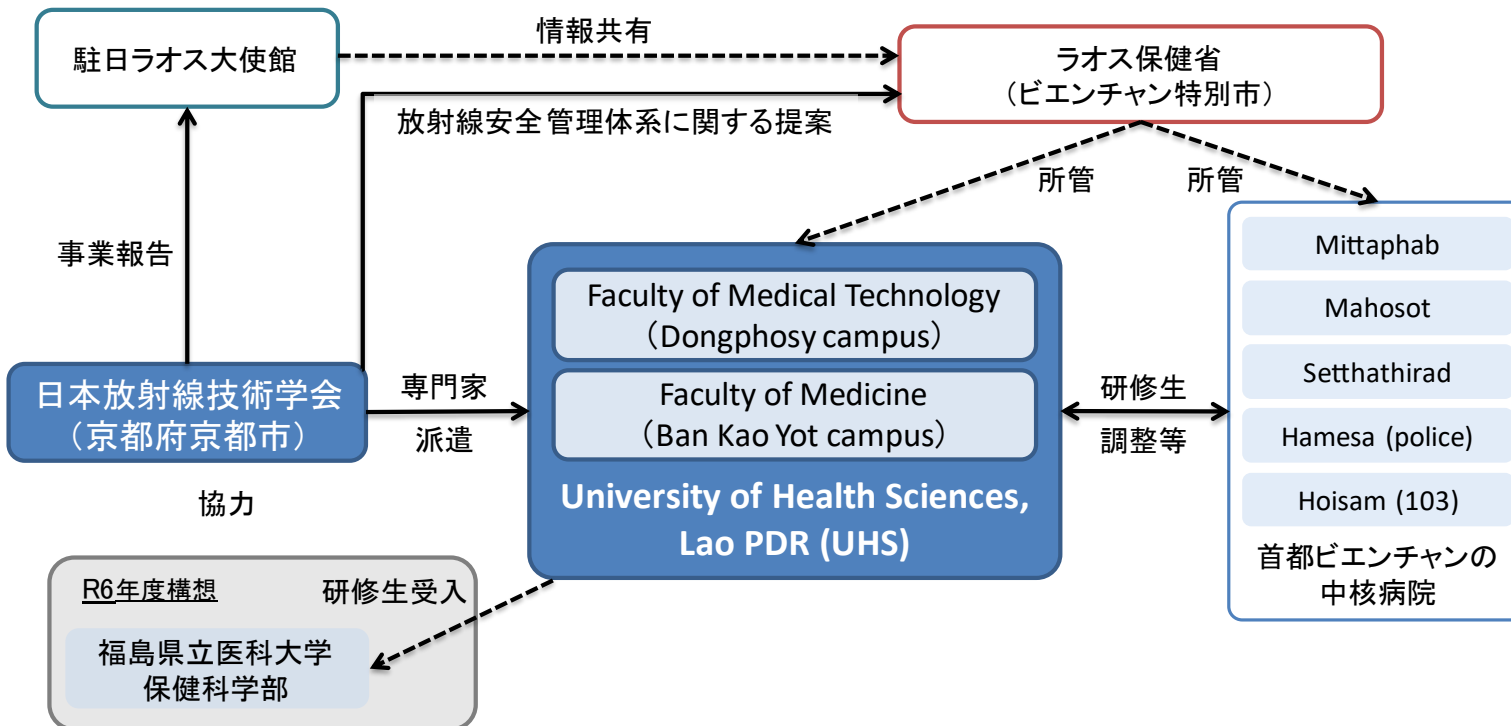


ラオスにおける放射線医療機器の品質・安全管理技術の向上を目的とした技術研修

- ① 診療放射線技師の養成を担うUHSでは、教員数を含め、十分な教育基盤が整っていない。2021年、UHSより、放射線防護や品質・安全管理に関する知識・技術の向上、人材育成・確保に向けた教育支援の要請を受けた。
- ② UHSにおける医用画像診断装置の品質・安全管理に関する教育基盤を強化する。
- ③ 日本放射線技術学会は、各分野のガイドラインおよびJapan-DRLs策定に係わっている。本事業では、当学会に所属する各分野の若手を登用し、ラオス現地での教育・技術指導を行う。
- ④ 中核病院5施設を足掛かりに、UHSを核とした放射線医療機器の品質・安全管理の教育・技術指導体制が構築される。



<研修スケジュール>

8-9月 専門家派遣(のべ11名)

- 医用画像診断装置の品質・安全管理に関する講義
- 品質・安全管理の実技指導

1月 専門家派遣(のべ5名)

- QA/QCの実技フォローアップ
- 中核病院5施設における品質・安全管理 手順書の作成